

 <p>日本組織培養学会 会員通信 第135号</p> <p>平成 28年 1月 4日</p>	<p>発行者 * 森 一憲 (昭和大学)</p> <p>* 責任者連絡先 〒142-8555 品川区旗の台1-5-8 昭和大学 薬学部 生体分子薬学講座 腫瘍細胞生物学部門 TEL: 03-3784-8209 E-mail: mori@pharm.showa-u.ac.jp</p>
---	---

目次

1. 年頭のご挨拶	2
2. 日本組織培養学会 第 89 回大会 (平成 28 年) のお知らせ	2
3. 第 89 回大会 奨励賞申請と発表について	7
Young Investigator Award (YIA), Application and Presentation	8
4. English Presentation Award (EPA) 応募案内	9
5. 委員会報告	10
教育研究システム委員会報告	
テクニカルアーカイブ委員会報告	
品質管理等普及委員会活動報告	

1. 年頭のご挨拶

会員の皆様、新年あけましておめでとうございます。本年も宜しくお願い申し上げます。

現在の執行部体制に移行して早いもので3年が経ちました。5月の年次大会に併せて開催する幹事会におきまして、新旧執行部の顔合わせと引継ぎを行いたいと考えております。つきましては、2月中旬頃に新しい会長と幹事を選出するための選挙を実施いたします。学会活動を円滑に推進するための大事な選挙でありますので、ご投票の程、宜しくお願い申し上げます。

本年6月11～15日にサンディエゴにて開催される“2016 World Congress on In Vitro Biology”において、本学会主催で“Joyful Tissue Culture for Cancer and Aging – Intervention of Stress and Disease.”というセッションが行われます。近隣への出張機会等がありましたら、足をお運び頂ければ幸いです。

昨年の年次大会は、広島大学の二川浩樹先生に大会長をお引き受け頂き、「臨床のための細胞培養」をテーマとして、広島大学にて開催され、たいへん盛況な大会となりました。平成26年11月25日に施行された「再生医療等の安全性の確保等に関する法律」に関するご講演もあり、関係する先生方には知見を深める良い機会になったことと思います。

本年の大会は、医薬基盤・健康・栄養研究所の古江・楠田美保先生に大会長をお引き受け頂いており、「細胞の形態を計(み)る」というテーマで、5月25日(水)、26日(木)の二日間、千里ライフサイエンスセンター(大阪府豊中市新千里東町1-4-2)において開催されます。万障お繰り合わせのうえ、ご参加を賜れば幸いです。また、奨励賞及び昨年の大会より開始のEnglish Presentation Award (EPA)への応募もお待ちしております。大阪での皆様との再会を楽しみにしております。

最後に、皆様のご研究の益々のご発展をお祈りして、年頭のご挨拶とさせていただきます。

平成28年1月

会長 中村幸夫

2. 日本組織培養学会 第89回大会(平成28年)のお知らせ

ご挨拶

このたび日本組織培養学会第89回大会を、大阪府・千里ライフサイエンスセンターにおいて、平成28年5月25日(水)、26日(木)の2日間の日程で開催する運びとなりました。

第89回大会では、「細胞を計(み)る」というテーマとしました。培養を始めた頃、「細胞の形を毎日見なさい。そうすれば細胞が語りかけてくれるよ。」と教わりました。実際、細胞を見ていると様々なことを語りかけてくれます。たとえば、ヒトES細胞やiPS細胞は分散しすぎて播種をするとやや細長い形になります。健康な状態であればやがて丸い形となり、隣の細胞との境界がほとんど見えない特有のコロニーを作ります。培地のロットが不良であった場合、隣の細胞との境界がはっきりと見えたままとなり、いつもとは違う状態であることが示唆されます。しかし、このような状態であってもRT-PCRではNANOGもOCT-3/4もはっきりと発現が確認されます。顔は口ほどにものを言う。細胞の形態は分子を越えてものを言っているのかもしれませんが、まだまだ細胞の神秘を私達は解明できていないことを実

感します。そこで、培養を始めた頃に教わった培養細胞の形態を見ることを今一度見直すことに注目することにいたしました。今回の大会でご発表いただく際には、培養条件と使用された細胞の位相差顕微鏡写真をご発表スライドの中に入れていただきますようお願いいたします。

学会の役割には3つあると思います。1つは新しい情報の提供、2つ目は意見の交換、3つ目は社会への情報発信ではないでしょうか。昨今、培養細胞は基礎研究だけでなく、細胞を用いた再生医療、創薬研究においては薬効評価や毒性評価等、様々な分野で利用されるようになってきました。特別講演やシンポジウムで新しい情報を提供し、ディープディスカッションやポスターセッションで意見を十分に交換していただけるよう、プログラムを企画いたしました。また、培養技術を日本に広めてきた日本組織培養学会が担うべく責任として培養細胞講習会を例年同様に開催いたします。少し欲張りすぎのプログラムとなってしまったかもしれませんが、楽しい学会となるよう鋭意準備をしてきたいと思っております。どうぞよろしくお願い申し上げます。

大会長 国立研究開発法人 医薬基盤・健康・栄養研究所
古江-楠田 美保

大会概要

大会長 : 古江-楠田 美保 (国立研究開発法人 医薬基盤・健康・栄養研究所)
テーマ : 細胞を計(み)る
会期 : 平成28年5月25日(水)・26日(木)
会場 : 千里ライフサイエンスセンター (大阪府豊中市新千里東町1-4-2)

【プログラム委員会】

古江-楠田 美保 委員長 片岡 健 委員 藤井 万紀子 委員 松木 亨 委員
中村 和昭 委員 二川 浩樹 委員

予定プログラム・スケジュール

○ 特別講演

「哺乳類大脳発生の神経幹細胞プログラム: live imaging からわかること」

松崎文雄 先生

(理化学研究所多細胞システム形成研究センター グループリーダー)

○ シンポジウム1 「臨床応用を目指した培地組成の考え方とその品質管理」

厚生労働省 革新的医薬品・医療機器・再生医療製品実用化促進事業 成果発表

末盛 博文 (京都大学再生医科学研究所・准教授)

伊藤 弓弦 (産業技術総合研究所・研究グループ長)

庄司 信一郎 (協和発酵キリン株式会社・研究員)

○ シンポジウム2 「iPS 細胞の品質変動と実用化を目指した培養技術の標準化」

AMED 再生医療実用化研究事業 成果発表

大沼 清（長岡技術科学大学・准教授）

栗崎 晃（産業技術総合研究所・上級主任研究員）

川端 健二（医薬基盤・健康・栄養研究所・プロジェクトリーダー）

○ シンポジウム3 「培養細胞の形態を評価する」

紀ノ岡 正博（大阪大学大学院 工学研究科・教授）

加藤 竜司（名古屋大学 創薬科学研究科・准教授）

清田 泰次郎（株式会社ニコン）

佐波 晶（大日本印刷株式会社）

涌井 隆史（富士フィルム株式会社）

古江-楠田 美保（医薬基盤・健康・栄養研究所・研究リーダー）

○ ワークショップ1 「培養細胞を用いたスクリーニング系の構築、毒性評価」

小島 肇（国立医薬品食品衛生研究所・室長）

中村 和昭（国立成育医療研究センター・室長）

水口 裕之（大阪大学大学院薬学研究科・教授）

今井 弘一（大阪歯科大学・教授）

亀井 謙一郎（京都大学 物質-細胞統合システム拠点 (iCeMS)・准教授）

○ ワークショップ2

○ 癌研究ディープディスカッション 1

○ 癌研究ディープディスカッション 2 癌細胞の特性と治療

○ 奨励賞対象演題（ポスター）、English Presentation Award、培養細胞講習会

○ 一般演題*

*一般演題は、ポスター、ワークショップ、ディープディスカッション、一般口演に大会事務局で選出させていただきます。予めご了承ください。

5月27日 シンポジウム 培養神経細胞の可能性

「医薬品開発への応用を目指したモデル細胞の構築とその応用」

AMED 再生医療実用化研究事業「iPS 細胞の品質変動と実用化を目指した培養技術の標準化」企画・成果発表

主催：国立研究開発法人 医薬基盤・健康・栄養研究所 後援：日本組織培養学会、大阪府

参加費：無料

参加登録：neuronsymposium201605@nibiohn.go.jp

座席の設定の都合上、参加者名と参加人数を上記メールまで御連絡ください。

大会スケジュール

	5月24日(火)	5月25日(水)		5月26日(木)
午前		シンポジウム1 ワークショップ 一般演題 English Session	ディープディスカッション (一般演題) 1、2	ワークショップ1 ワークショップ2
		昼食		昼食
午後	幹事会	培養講習会 シンポジウム2 特別講演		総会 シンポジウム3
夕方		奨励賞ポスター 一般ポスター 懇親会		

一般演題・奨励賞対象演題募集

演題登録は『仮登録』と『本登録』の二段階からなります。演題登録の受付期間は以下の通りです。

大会ホームページよりご応募願います（締切厳守）。

※仮登録は、発表内容をプログラム編成に反映することを目的としており、抄録集には掲載されません。仮登録では発表について簡単な入力で済みますので、多くの演題登録をお待ちしております。

仮登録期間 : 2016年1月4日(月) ~ 1月31日(日)

本登録期間 : 2016年2月8日(月) ~ 2月29日(月)

また、奨励賞対象演題に応募される場合は、所定の申請書類を2016年1月31日(日)までに提出(郵送)して下さい。詳しくはホームページでご確認ください。

学会ホームページ <http://www.jtca.net/>

または大会ホームページ <http://jtca.umin.jp/meet/y2016/index.html>

参加費・事前登録

	会員種別	大会参加費	懇親会参加費
事前登録	一般会員	6,000円	4,000円
	学生会員	3,000円	3,000円
	非会員	7,000円	5,000円
	学生非会員	4,000円	4,000円
当日登録	一般会員	7,000円	一律 5,000円
	学生会員	4,000円	
	非会員	10,000円	
	学生非会員	5,000円	
	名誉会員	全額無料	

- ・ 一般会員および学生会員には、日本動物実験代替法学会会員および学生会員も含まれます。
- ・ 事前登録は4月30日（土）までに、同封の振替用紙、もしくは大会ホームページにご用意した雛形を模して、下記までお振込ください。

金融機関： ゆうちょ銀行

店名： 〇九九（読み方＝ゼロキュウキュウ）

店番： 099

預金種目： 当座

口座番号： 0208462

口座名： 日本組織培養学会第89回大会実行委員会

- ・ 参加登録証、並びに領収証の印刷発行を自動化するため、オンライン参加証発行フォームを作成しました（2月オープン予定）。参加費を振込まれた方は、第89回大会ホームページの「参加登録」ページから、振込時と同じ内容をご入力いただきますようお願いいたします。また、当日登録料金とはなりますが、参加者登録をして頂きますと、当日受付を簡素化できますので、よろしくご協力願います。
なお、登録方法の詳細は大会ホームページ「事前参加登録サイト」でご確認ください。

大会事務局

国立研究開発法人 医薬基盤・健康・栄養研究所 ヒト幹細胞応用開発室

〒567-0085 大阪府茨木市彩都あさぎ7丁目6番8号

TEL; 072-641-9819

FAX; 072-641-9812

E-mail: baiyougakkai89-meeting@nibiohn.go.jp

3. 第 89 回大会 奨励賞申請と発表について

教育・奨励賞担当幹事 絵野沢 伸

1. 申請資格

- 申請時に日本組織培養学会の会員であること。
- 2016 年 4 月 1 日現在で 40 歳以下であること。
- 今大会にて発表する奨励賞応募演題の筆頭発表者であること。
- 日本組織培養学会 奨励賞を未受賞であること。

2. 発表形式

今後、ウェブサイトの大会ホームページにて詳細をご案内いたします。なお、前回大会においては、口演（発表 10 分、質疑応答 4 分）に加え、ポスター展示を行っていただきました。

3. 受賞者の皆様へのお願い

- 受賞者は以下の学会活動へのご協力をお願いします。
- (1) 会員通信へ「受賞の感想」を寄稿する。
- (2) 受賞題名に関連する論文（原著、または総説）を本学会機関誌（Tissue Culture Research Communications）に投稿する。

4. 応募方法

申請用紙を本学会ホームページよりダウンロードしてご記入ください。申請書類には、本学会評議員の推薦状が含まれます。申請書類をメール添付ならびに書面にて「6.問い合わせおよび申請書類送付先」宛てに書留など配送記録が残る方法で送付し、演題登録許可を得てください。その後、大会ホームページから演題抄録の登録を行っていただきます。

申請用紙ダウンロード URL: http://jtca.umin.jp/shourei/YIA-ApplicationForm_2016.doc

5. 応募〆切

2016 年 1 月 31 日（日）消印有効

※演題登録許可の取得前にオンライン抄録登録は行わないようお願いいたします。

6. 問い合わせ、および申請書類送付先

〒157-8535 東京都世田谷区大蔵 2-10-1

国立成育医療研究センター 研究所 先端医療開発室 絵野沢 伸

電話 03-5494-8163（直通）

FAX 03-3417-2864

e-mail: enosawa-s@ncchd.go.jp

baiyougakkai89-meeting@nibiohn.go.jp（第 89 回大会事務局）

Young Investigator Award (YIA), Application and Presentation

1. Applicants must meet the following criteria

Be the member of "Japanese Tissue Culture Association".

Be equal to or less than 40-year-old on April 1, 2016.

Be the first author of presentation of title applied for young investigator award.

Did not receive "Young Investigator Award of Japanese Tissue Culture Association" previously.

2. Presentation

The style of presentation will be announced in the "The 89th Annual Meeting Website". For reference, the style of presentation is usually the 10-min oral presentation including 4-min discussion and the poster display.

3. Awardees are requested;

(1) to submit the comments of impression for getting the Young Investigator Award to News Letter of Japanese Tissue Culture Association soon after the Annual Meeting, and (2) to submit the paper (regular articles or review articles) to "Tissue Culture Research Communications" by the consistent title applied to Young Investigator Award after the Annual Meeting.

4. Application

You can download the application form from JCTA website. Please fill the form and apply to the below address by both e-mail and registered mail. Please keep in mind that this form includes the testimonial written by councilor of Japanese Tissue Culture Association. After the acceptance and approval of application, you will be requested to submit the abstract through online registration in the Annual Meeting website.

Download the application form; http://jtca.umin.jp/shourei/YIA-ApplicationForm_2016.doc

5. Deadline of application.

January 31, 2016 (must be postmarked by)

Please do NOT submit to online registration BEFORE the approval of application by YIA office.

6. Address.

Inquiry and an application form to: Shin Enosawa

Division for Advanced Medical Sciences National Center for Child Health & Development

2-10-1 Ookura, Setagaya-ku, Tokyo 157-8535, JAPAN

Tel; 03-5494-8163 Fax; 03-3417-2864

e-mail: enosawa-s@ncchd.go.jp

baiyougakkai89-meeting@nibiohn.go.jp (The official mail address of JTCA)

4. English Presentation Award (EPA) 規定、ならびに応募案内

会員の国際的発信能力の増進を奨励し、本学会の活性化を図るため、2014年の幹事会で設置が承認されましたEnglish Presentation Award (EPA) について、選考規定を定めました。本学会ホームページ (URL: http://jtca.umin.jp/EPA/EPA_index_89.html) よりご確認ください。

EPA応募要項

1. 受賞対象者

本学会の会員であり、当該年度の本学会大会のEPA応募演題（口頭発表）の筆頭学術発表者であって、要旨記述ならびに口頭発表を英語で行った者。尚、受賞者は再度応募出来ない。

2. 発表形式

口頭発表を予定していますが、詳細については、今後大会ホームページにてご案内いたします。

3. 応募方法

本大会の演題申込方法に従い、演題申込時にEPA対象演題として応募すること。尚、応募の期限は演題申込締切日とし、応募演題は一人一題に限る。

EPA, Application and Presentation

1. Candidate

Must be a member of JTCA and a first author of the oral presentation in the annual meeting of JTCA. Abstract should be written in English and presentation as well. Previous awardees are precluded.

2. Presentation

The style of presentation will be announced in the "The 89th Annual Meeting Website".

3. Application

Specify the request of nomination at the time of abstract application.

One application per each author.

5. 委員会報告

教育研究システム委員会報告

教育研究システム委員会委員長

片岡 健

日頃より日本組織培養学会教育研究システム委員会の活動へのご理解・ご協力をいただき感謝しております。

平成 27 年度は培養基盤技術コース I を 6 回、コース II を 3 回開催し、のべ 73 名(コース I: 53 名、コース II: 20 名)の学会員が受講いたしました。平成 28 年 1 月(理化学研究所バイオリソースセンター)と 2 月(日本歯科大学)にコース I の開催が予定されています。また 3 月 5 日には細胞培養士認定試験を含むコース III の開催を、京都大学 iPS 細胞研究所で予定しています。申し込みの締切は 1 月 31 日ですので、受講希望の方はお急ぎください。

また平成 28 年 4 月以降に開催する基盤技術コースは、前年度中に入会した会員を対象とすることになっています。会員通信第 134 号にも書きましたが、受講希望の方が皆様のお近くにおられましたらご注意願います。

今後とも会員の皆様のご協力をお願い申し上げます。

テクニカルアーカイブ委員会

テクニカルアーカイブ委員会委員長

浅香 勲

テクニカルアーカイブ委員会は、2015 年度は品質管理等普及委員会と共同で、STR 解析、マイコプラズマ検出、核型解析等の細胞の品質管理に関する技術の映像資料作成を計画しており、現在撮影内容および撮影スケジュールについて両委員会で検討しているところです。

品質管理等普及委員会活動報告

品質管理等普及委員会委員長

小原 有弘

品質管理等普及委員会では、情報発信のためのホームページを作成し、細胞の品質管理に関する情報提供を行うとともに、平成 27 年度は、細胞認証に関するデータベースの更新を行いました。具体的には、東北大学加齢医学研究所の医用細胞資源センター・細胞バンクに登録されているヒト細胞の情報をデータベース化して運用を開始した。是非、ご活用下さい。

ホームページアドレス: <http://jcrbcelldata.nibiohn.go.jp/str/>

また、今後は海外細胞バンクの細胞認証データを含めた、データ更新機能の強化を図り利用者の利便性向上を図る計画です。